



製品の完成度を確かな技術と管理で確実なものにします。
溶接・口ウ付加工のことならカンドリ工業へ ——。



50ミクロン (μm) を満足することを要求される精密口ウ付加工や特殊素材の口ウ付加工など、長年の経験で培われた技術力で多彩な分野で実力を発揮しています。

➡ カンドリ工業の口ウ付加工技術



新たなロウ付技術の開発
お客様の多様なロウ付のご要望にお応えするカンドリ工業の技術開発

➡ 詳しくはこちら



ISO9001取得
品質保証体制の構築による効率化。さらに良いものを作りたい。

➡ 詳しくはこちら



エコアクション21取得
省エネ・省資源・廃棄物削減等々環境への取り組みを行っています。

➡ 詳しくはこちら



愛知ブランド企業認定
ロウ付の匠の技が認定されました。

➡ 詳しくはこちら



地域未来牽引企業選定
地域経済の相い手として経済産業省より選定されました。

➡ 詳しくはこちら



IATF 16949:2016 逆川工場取得
自動車産業の国際的な品質マネジメントシステム規格を取得しました。

➡ 詳しくはこちら



SDGsへの取組み
持続可能な開発目標を掲げ取り組んでいます。

➡ 詳しくはこちら



経営理念

人と技術のやさしい関係を実現する技術力。
そのハイクオリティな技術力は多彩な分野で実力を発揮しています。

カンドリ工業は創立以来、溶接・口ウ付・ステンレス固溶化熱処理・磁気焼鈍の専門メーカーとして高品質な製品を生産してきました。

高性能水素ガス連続式熱処理炉及び真空炉により、ステンレス、チタン、セラミックのあらゆる種類の熱処理及び口ウ付加工など、長年の技術の積み上げにより、お客様の各種ご要望にお応えしております。

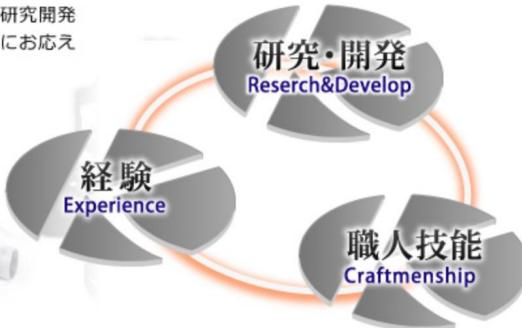


経営理念

- お客様の必要なところに自らの身を置く
- 創造研究
- 向上(絶えず、個人、企業のレベルを向上させる)

KANDORI WELDING

貴社からの信用を資本と考え、絶え間ない研究開発と技術の向上で、お客様のあらゆるご要望にお応えしていきます。



事業概要

組付精度50 μに挑戦するカンドリ工業の接合技術

カンドリ工業は溶接をベースに、炉中ロウ付、真空ロウ付、高周波ロウ付、自動ロウ付、ハンドロウ付などのロウ付加工や、ステンレス固溶化熱処理、磁気焼純、析出硬化処理、溶接治具の製作をおこなっております。

高水準の組付制度を満たす溶接加工が、貴社の製品の完成度を確かな技術と管理で確実なものとします。

溶接	固溶化熱処理
ロウ付加工	磁気焼純
析出硬化処理	溶接治具の製作



切手サイズのマイクロ熱交換器

KSO-17.5×24×5
材料SUS304 0.05 チューブ内径 0.3×4.9
材質 SUS304 ピッチ 0.9
本数 10

様々な素材の加工を承っております

	種類	設備	材質
溶接	TIG MIG MAG CO2	ロボット 自動機 ハンド	SUS Fe Al
ロウ付	金口ロウ付 銀口ロウ付 銅口ロウ付 ニッケルロウ付 アルミニウムロウ付 真鍮ロウ付 チタンロウ付 青銅ロウ付	ロボット 自動機 ハンド 水素炉 真空炉 高周波	SUS Fe Al Cu BS チタン Mo Hf セラミック ダイヤモンド カーボン
固溶化熱処理 磁気焼純	電池管、センサーキャップ ソレインノイドコア、ソレノイドケース	水素炉 真空炉	SUS 電磁ステンレス
ブレイズコート	超硬被覆	炉中	WC Cr3C2
治具の製作	溶接、ロウ付、組付 各治具		

保有設備



お客様の多様なご要望にお応えする各種工作設備

溶接ライン、ロウ付ライン、熱処理ラインなどのライン設備の他、油圧プレス機、真空洗浄機、各種検査機器でお客様の多様なご要望にお応えしております。



■ 溶接ライン

- CO₂、MAG 半自動溶接機 350A
- MIG溶接機 350A
- アルゴン溶接機 300A
- パルスアーク溶接機 350A
- エアプラズマ C-30
- 溶接口ボット 多関節型6軸
- 溶接自動機
- TIGロボット 多関節型6軸
- スポット溶接機 35KVA
- マルチスポット溶接機 35KVA

■ 周辺機器

- サーボプレス
- 卓上プレス カシメ用
- エヤプレス 1ton
- 真空洗浄機
- 高周波洗浄装置
- フライス盤 SV-CH
- 施盤 L-150
- 油圧プレス 15ton
- メタルソー V-100
- ポール盤 13/M
- ポール盤 16/M
- 試作設備一式
- ペーストロボット（多関節型6軸）
- ペーストロボット（内型4軸）
- ロウ材フォーミングマシン

■ 検査機械

- ロックウェル硬度計
- ビックカース硬度計
- 内視鏡
- マクロカット
- 金属顕微鏡
- マイクロスコープ
- 画像自動検査機
- 画像寸法測定器
- 引張試験機
- リニヤゲージ
- 熱電対温度計
- ロードセル
- 露点計
- ラウンドテスト
- ヘリウムディテクター
- 耐圧サイクル試験機
- 保磁力計
- サーモグラフィ
- 全自動耐圧試験機
- 荧光X線分析装置
- コンタミ分析器
- 油分濃度計
- その他計測器一式

■ ロウ付ライン

- ロウ付ロボット 多関節型6軸
- ロウ付自動機 真鍮
- ロウ付自動機 アルミ
- ロウ付設備 ハンドロウ付
- 連続式水素炉 14台
- 真空炉 8台
- 高周波ロウ付機
- ロウ材コーティング装置
- ノコロックブレージング炉

■ 热処理ライン

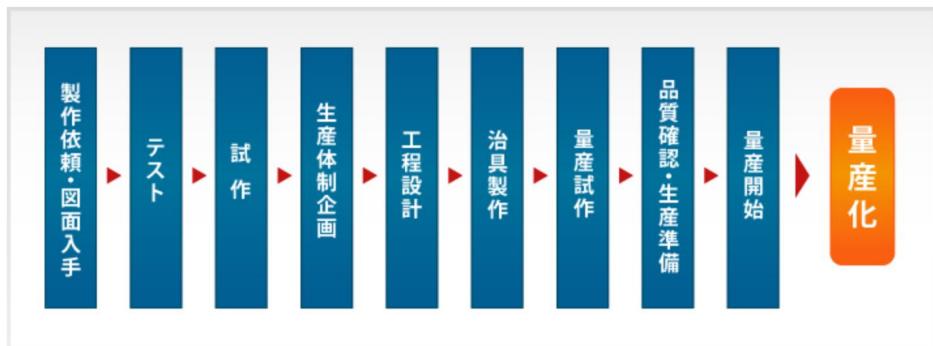
- 水素ガス製造装置
- 連続式水素炉
- 真空炉

量産技術



高品質の製品を量産するカンドリ工業の品質保証体制

設備、生産力においても充実した品質保証体制を確立し、そこから生産される製品は耐久性、機能性においても高い品質を誇っています。



ご依頼から量産体制の構築までの工程

ISO9001 認証工場

カンドリ工業はISO9001認証工場となっております。

当社は当資格の取得にあたり、「他社も取得している資格なので取得をした」という考えではなく、あくまで従業員の管理能力向上を図ることを狙いとして、資格取得の過程を重視いたしました。



(桐山工場・上六栗工場)

従業員の意識向上による現場力の強化

ISO 9001取得にあたって特筆すべきは、従業員がマネージメントリーダーとなり、自発的にプロジェクトを運営、展開していったところにあり、その結果現場力が強化され、より品質保証体制が強固なものとなりました。



今後はさらに良いものを安く。付加価値を創造してアジア諸国より勝る高品質の物作りを徹底していきます。

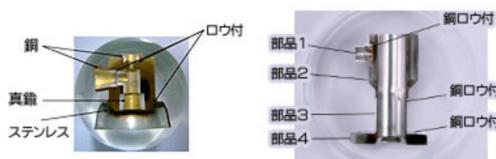


ロウ付加工技術

部品の複合化ロウ付によりコストダウンを実現

例えば、今までのBS-Cu-SUSをフラックスと使用してバーナーロウ付していたものに変わる、水素炉による無酸化光輝ロウ付方法を開発しました。これは環境にも優しく、大幅なコストダウンを図ることができます、今では業界の標準となっています。

また、鍛造切削をしていた3部品を切削・プレス・ロウ付により一体化することができるようになり、大幅なコストダウンを可能にしました。



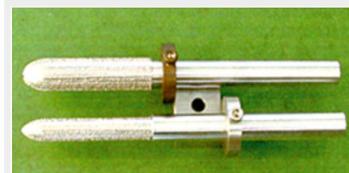
精密ロウ付対応

カーエアコンのコントロールバルブをはじめ、電磁弁センサーキャップ、その他の部品で、ロウ付けによる組付精度は、50ミクロンを満足することを要求されていますがこれらをクリアする精密ロウ付を可能としています。



下記の特殊な金属・非金属同士のロウ付にも対応しております。

1. AI材とSUS材とのロウ付
2. ダイヤモンドとSUS材とのロウ付
3. セラミックとSUS材とのロウ付
4. カーボンとCU材のロウ付
5. AI材とAIN材とのロウ付 など





長年の経験とたゆまぬ研究に支えられた口ウ付加工技術

これまで蓄積してきた豊富な加工データがあり、加工に用いた炉や材料、温度条件などあらゆる情報をデータ化して保存、いつでも取り出せるようにしている。

類似の依頼があれば、データベースを検索することで、早急な対応が可能です。

現在、データ件数は2,000件を超えており、新技術開発には欠かせないものとなっている。



お客様から持ち込まれる多様な口ウ付試作にトライ
小ロット品・試作品・テスト品の対応が可能です。



カンドリ工業B&H技術センターでは、お客様の多様な口ウ付加工のご要望にお応えするために、あらゆる口ウ付のテスト、試作を行なっております。

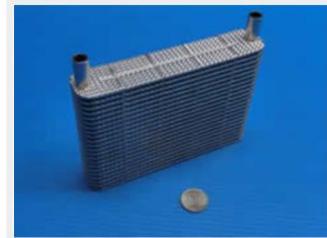
口ウ付加工の材質のほとんどをカバーしており、現在はSUS材・CU材・AI材・Ti材・BS（真鍮）材・Mo材・Ta材・Hf材。非金属ではセラミック・ジルコニア・ダイヤモンド等を同種、及び異種の口ウ付をしています。例えばSUS-AI、SUS-Su、セラミック-SUS-BS、ダイヤモンド-SUS、Mo-Fe,Ti-SUH、Cu-Hf等の口ウ付を可能としています。

連携による開発

東京大学鹿園研究室、カンドリ工業、(有)和氣製作所の産学連携体のM-HEX ALLIANCEグループを結成して極細径チューブを用いた「マイクロ熱交換器」を開発。

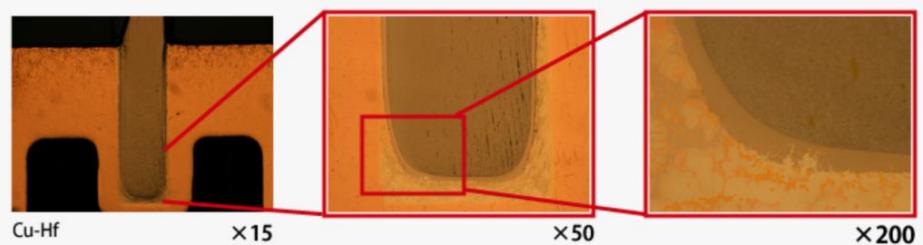
匠の技によるプレス加工と口ウ付により製造され、超小型・高性能・高信頼性を実現しました。

ここでもカンドリ工業の口ウ付による匠の技がいかんなく発揮されています。

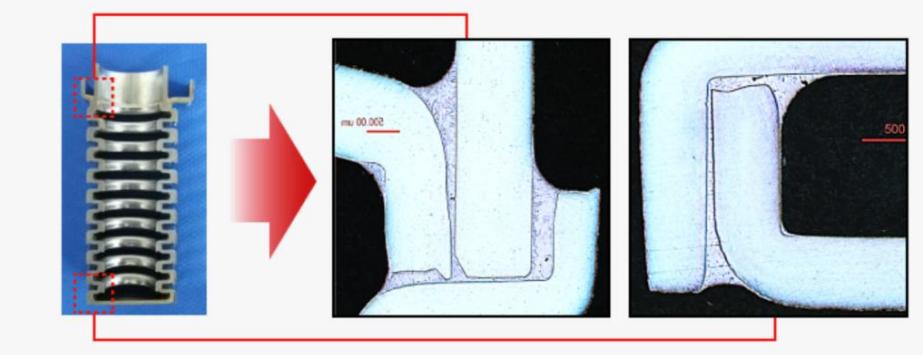


多様なロウ付加工のご要望にお応えするために
あらゆるロウ付のテスト、試作を行ないます。

Hf-Cu材の銀口ウ付のマクロカット断面



SUS4444材のNiロウ付のマクロカット断面



会社情報

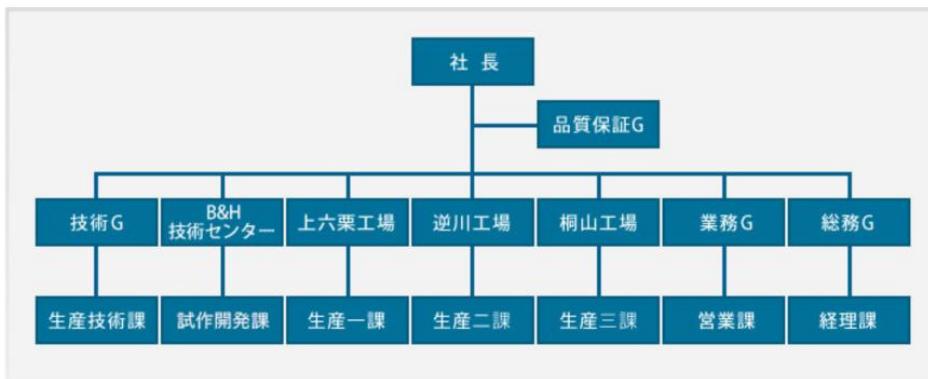
会社情報

社名	株式会社 カンドリ工業
設立	昭和59年9月1日
資本金	1,000万円
代表者	代表取締役 神取勇
E-Mail	info@localhost
お問い合わせ	担当者：本田
所在地	<p>■ 本社 〒444-0124 愛知県額田郡幸田町大字深溝字松井8-1 TEL. 0564-63-0555 FAX. 0564-63-0590</p> <p>■ 逆川工場 〒444-0125 愛知県額田郡幸田町大字逆川字川原32-1 TEL. 0564-62-7995 FAX. 0564-62-7987</p> <p>■ 上六栗工場・B & H技術センター 〒444-0123 愛知県額田郡幸田町大字上六栗字金ヶ崎57-1 TEL. 0564-62-5783 FAX. 0564-62-5861</p> <p>■ 桐山工場 〒444-0126 愛知県額田郡幸田町大字桐山字薮下1-2 TEL. 0564-64-3160 FAX. 0564-64-3165</p>
アクセスマップ	

得意先一覧（敬称略）

ロウ付・溶接	愛三工業(株)、イーグル工業(株)、宇都宮工業(株)、MPP KOMATSU(株)、 金星工業(株)、国本工業(株)、(株)三陽製作所、(株)高木化学研究所、 (株)高木製作所、名古屋技研工業(株)、日本ベローズ工業(株)、(株)パロマ (株)不二工機、フタバ産業(株)、平成工業(株)、渡辺工業(株)
固溶化熱処理 磁気焼純	旭精機工業(株)、旭千代田工業(株)、(株)加藤製作所、 (株)野口製作所、(株)メタルヒート、ワールドウイング(株) その他30社

業務組織図



沿革

1984年 9月	有限会社カンドリ工業創立 本社工場
1987年 7月	逆川工場稼働
1991年 4月	水素炉1号機導入
2003年 5月	上六栗工場稼働
2004年 6月	上六栗工場B&H技術センター設立 真空炉1号機導入
2005年 8月	真空洗浄機1号機導入
10月	ISO9001-2000取得
2006年 8月	愛知県新技術活用促進事業認定 逆川工場 太陽光発電設置 10kW
2007年 3月	経済産業省サポイン認定
2009年 9月	中小企業試作開発支援事業認定 ISO9001-2008 更新
10月	エンジンバルブ製造方法特許取得
2010年 7月	環境省エコアクション21取得
2011年 6月	圧力センサーの製造方法特許取得
7月	水素発生装置HS-30導入
9月	マイクロ熱交換器の製造方法特許取得
2012年 10月	熱回収装置 特許取得
11月	B&H技術センター拡充
2013年 5月	上六栗第4工場増築
7月	上六栗工場 太陽光発電設置 80kW
9月	株式会社カンドリ工業に法人組織変更
2014年 8月	新あいち創造研究開発認定
9月	物づくり技術革新事業認定
	物づくり補助金認定
2015年 8月	蛍光X線分析装置導入 本社 太陽光発電設置 25kw
2016年 1月	永井嘉吉記念賞（経営）受賞
2月	愛知ブランド企業認定
4月	逆川工場トラックステーション完工
2017年 8月	桐山工場稼働
	水素炉14号機導入
2018年 12月	桐山工場 太陽光発電設置120kw 真空炉8号機導入 経済産業省 地域未来牽引企業選定
2019年 6月	はばたく中小企業300社選定
2020年 2月	IATF16949:2016取得
2021年 7月	ノコロックブレージング1号炉導入

品質方針

製造のプロフェッショナルとして顧客からの高い満足と信頼を得る。

この方針を達成し、的確に顧客ニーズに応えるために次のことを行う。

1. たゆみない加工技術の向上に努力し、お客様に喜んで頂ける品質を提供する。
2. 安全及び環境に配慮し、いつでも同等の品質をお届け出来る体制を整備する。
3. 全社をあげて不良「0」の可能性に挑戦し、お客様へ"100%"良品を届ける。



(桐山工場・上六栗工場)

上記製品の提供を保証するために、当社は顧客要求事項・法規制・社内要求事項を遵守し、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する。

2013年3月31日 代表取締役 神取 勇

環境方針

基本理念

株式会社カンドリ工業は口ウ付・熱処理を主とし、生産時に於ける電気・ガス等を多量に消費しており、それらから発生するCO2排出量の削減を企業活動を通じて改善活動を自主的かつ積極的に推進し環境保全を進めます。



行動指針

1. 当社に、適用される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 不良率の低減、生産工程に於いてCO2排出量の削減、下記の資源使用量・廃棄量を削減します。
 1. 電力の使用量を削減します。
 2. 化石燃料の使用量を削減します。
 3. 廃棄物排出量を削減します。
 4. 化学物質の使用量を削減します。
 5. 不活性ガス等の使用量を削減します。
 6. 水の使用量を削減します。
 7. グリーン購入の推進を図ります。
3. 地域社会との共生に努めます。
4. 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGsへの取組み）とは

2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」の成果文書として、
 「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。
 アジェンダは、人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。
 この目標が、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。
 今後のサステナビリティを考えるうえでの世界の共通言語として位置付けられるものといわれています。

当社は口ウ付・熱処理を主とし、生産時に於ける電気・ガス等を多量に消費しており、
 それらから発生するCO2排出量の削減を企業活動を通じて改善活動を自主的かつ積極的に推進し
 「脱炭素社会」「カーボンニュートラル」への貢献を目指しています。
 また、地元に根ざし、皆さんに支えられ信頼される企業として、地域社会へ明るく積極的に関りを持ち
 続けることで、
 これからも社会貢献・地域活性化を進めていきます。

分野	目指すゴール	取組・活動内容	目標
経済	7, 9, 12, 13	生産性の向上	2026年までに2021年比15%の向上
社会	3, 5, 8, 10	永続雇用の推進 (就業規則上の定年（65歳）を過ぎた後も、本人が希望し続ける限り雇用を継続します。)	2026年までに66歳以降の雇用率50%達成
環境	7, 13	エコアクション21（環境省認定）を通して温室効果ガス排出量と水使用量の削減	毎年3%削減
	7, 12, 13	会社周辺の清掃実施	清掃活動...1回/月